

「先生！カエルとって！」

子どもの元気な声が畑に響いています。そんなのどかな風景が私たち保育士の日常です。

職場の保育園には農園があって毎年年長児が「バケツ稲」といって、バケツでお米を作ります。私自身、今年度が年長児の担任ということもあり、初めて「バケツ稲」の活動に深く関りました。種もみをカップに入れて水に浸すところから始め、三種類の土を混ぜて土作りをす等、普段大人でもなかなか体験できないようなことを幼少期に体験できるというのは、自然が近な四條畷市だからだと思います。今は稲の生長を楽しみにしており、少しずつお米も実っているのです、秋には収穫して、皆でおにぎりにして食べることを目標に育てています。

他にも四條畷市では保育士として学べる機会が多く、スキルアップが出来るというところです。二カ月に一度四條畷市内の保育園・幼稚園・こども園が集まり、保育に携わっている講師の講義を聞くことが出来る「ステップアップ」は、実践にも取り入れやすく、とても勉強になるとばかりです。また、他園の保育士とも関わることから情報を交換したり共有することもできるので、コミュニティの場としても、とてもいい取り組みだと思います。今はコロナ禍でリモートでの講義となっていますが、コロナが終息して通常の「ステップアップ」に戻ったらさっそく参加したいと思っています。

そして特筆することは、市民の人々が温かいというところです。以前、乳児を担当していた歩に出かけた時に、色んな方から「可愛いね」「頑張ってるね」等声をかけてもらったことがあります。子ども達も嬉しかったのか「ありがとう」「バイバーイ！」と笑顔で返事をしていた、そのやりとりを見ていてとても心が温かくなりました。このような光景を見ることが出来るのも地域の人々の人柄の良さであり、将来子育てをすることがあるならばぜひ四條畷市でいたいと思います。

私は今の職場に勤めて今年で七年目となります。目まぐるしい毎日ではありますが、子どもの笑顔や成長を誰よりも間近で見ることができ、本当にやりがいのある仕事だなと実感します。それもこの自然が豊かで人々も温かい四條畷市「しぜんたい、しぜんたい」ブランドメッセー通りの地域の環境の良さが影響していると言ってもいいのではないのでしょうか。

これからも可能な限り四條畷市の保育士として勤め続け、子ども達と日々過ごし、成長を見続けたいと思います。

私は今年で保育士として働き始めて四條畷で16回目の春を迎えました。16年前の春、ほとんど来たこともない、馴染みのない四條畷で私は保育士として働くことになりました。きっかけは生時代の恩師が私に言った「君の家なら電車一本で行けるやろ？」の一言でした。私も保育園らの求人票の地図を見て「四條畷って『いちろくさん』（163号線）が通ってるんや。車でもるやん！」が第一印象。実は私の家は京都の端っこにあります。家からは京都→奈良→大阪と都物語をしながら毎日通勤しています。とは言っても片道30分程度、意外と近いんです。そしてこの30分は私には、とっても程よい時間なのです。独身時代はプライベートと仕事の気持ちのり替えの時間に、育休から復帰してからは束の間の一人きりの時間。この片道30分間が新卒の私にも、今の私にも、とっても大事な時間になっています。四條畷を勤務地に選んでよかったですと感じることの一つです。

今は0歳児クラスの担任をさせてもらっています。私にとって学生時代からの憧れであったちゃんのお世話をしています。0歳児クラスと言うと生まれて初めて家族から離れる生活というほどほとんどです。初めは泣いてばかりの子が多いのですが、少しずつ園生活に慣れ、ふとした瞬から遊べるようになる姿には毎回、驚かされ、子どもが持つ大きなパワーに感動しています。たった1日でも著しく成長する子どもの姿を毎日、近くで見ることのできる保育士という仕事は本当に素敵だと感じています。

働き始めた頃はこんなにも四條畷で長く働くとは思っていませんでした。（初めは自分でもい勤務先と思っていたので。）1年目に担任した1歳児さんは高校2年生…とても早いです。車勤していると卒園児さんを見かけることも増えてきました。こちらに気づかない子、会釈をしてくれる子、「池田先生やーん」と大きく手を振ってくれる子、いろいろです。その大きくうらやましい姿を見ることができるだけで、同じ土地で長く働いている特権だと嬉しく思っています。また、ふとすれ違う子どもの大きな成長を見て、保育士としてのやりがいを感じさせてもらっています。保育士の仕事は楽しいことばかりではありません。今まで辛かったこと・悔しかった事沢山ありました。時には「保育士なんて辞めてやる！」と泣いたこともありました。けれどもいろいろ言いながらもこれだけ働き続けられる職場、私にはちょうどよく働きやすい職場なのと思います。きっとこれから先も、私は京都から四條畷まで通い続けることになるでしょう。

また明日からも保育士頑張ります！